



## フレームガードEPS保護壁体工法 〈支柱設置式EPS壁体工法〉

細かく配列された支柱と壁面パネルでEPSブロックを拘束保護する支柱設置式壁体工法です



橋台背面部土圧軽減量盛土

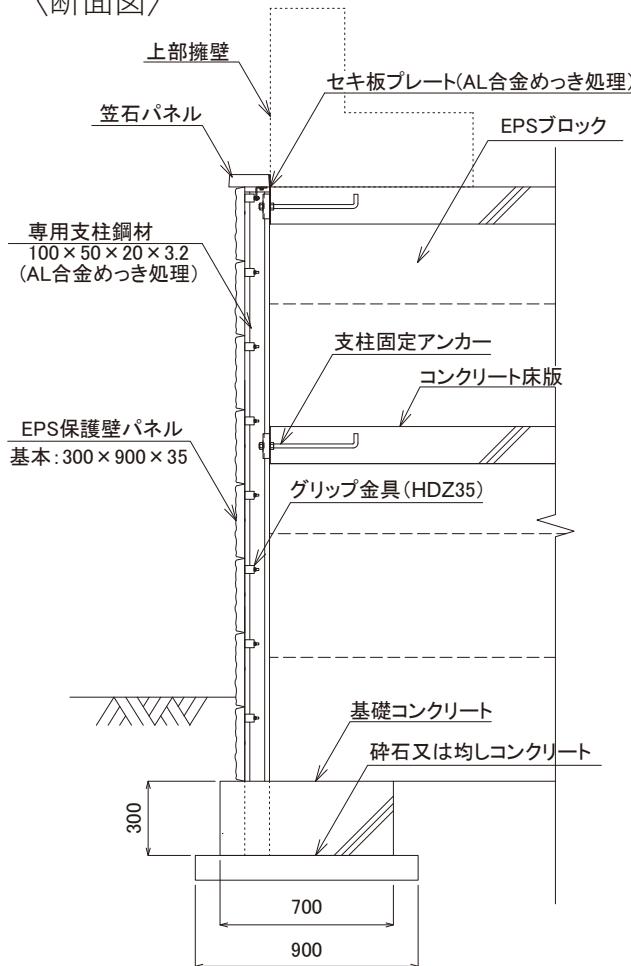


株式会社エンバイン

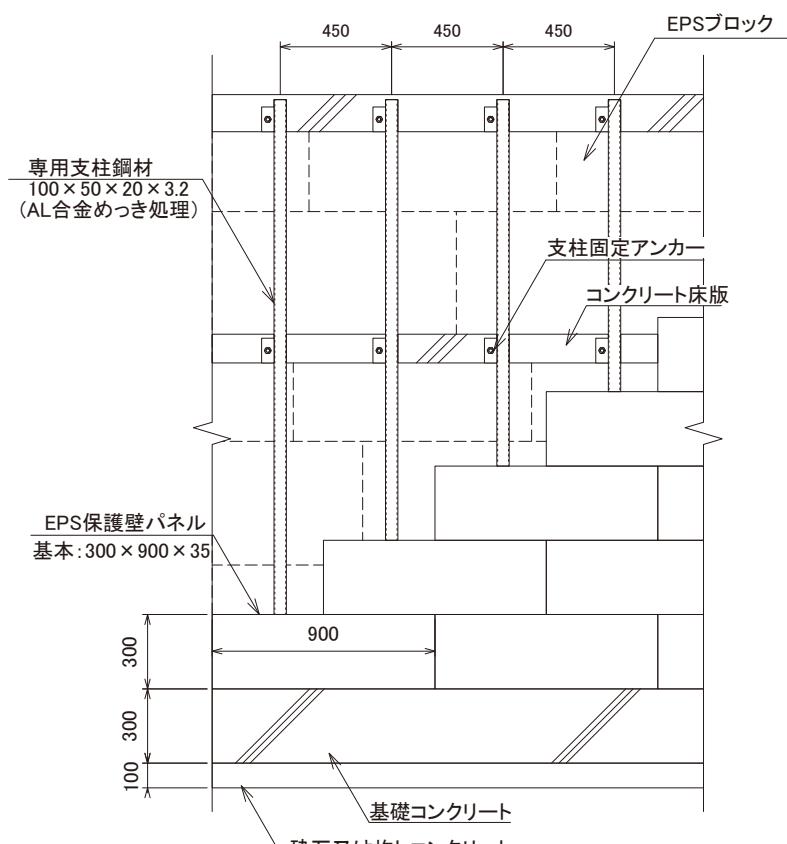
# フレームガードEPS保護壁工法の概要図

## 〈支柱設置式EPS壁体工法〉

〈断面図〉



〈正面図〉

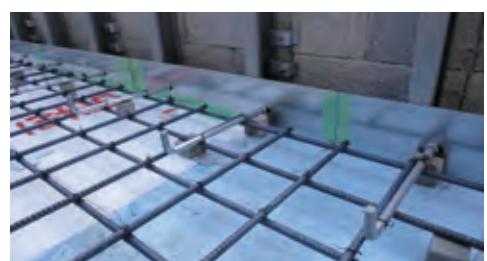


## 支柱設置式壁体構造の特長

■ 設置間隔を500mm以下に細かく配列した支柱鋼材でEPSブロックの表面を拘束防護。耐震性に優れたEPS専用の支柱設置式壁体工法です。



■ EPS特有の圧縮変形に追従稼働する専用アンカーで床版ごとに支柱を結合。剛性が高く安定した壁体構造です。



■ EPSと壁面パネルの間に設けられた100mmの空間が優れた遮熱性能を発揮。不慮の火災等からEPSを守ります。

■ 耐久性に優れた高強度コンクリート製の壁面パネルを支柱鋼材に専用金具で結合固定。EPSを被覆・防護します。

■ 壁体構造がEPSと分離独立した構造のため、EPSに影響無く壁面の修繕が容易です。また壁体全体の取替え措置が可能なため、長期的なEPSの保護・維持管理が可能です。

支柱連結(支柱固定アンカー)はEPSの変形にスライド追従する構造

## 施工性・安全性・景観の特長

- 使用部材が全て軽量小型化された、重機不要の人力による支柱・壁面設置工法です。
- 施工時に支柱が先行設置されるため、転落防止対策として安全な施工に貢献します。



- 施工に特殊な工具や専門職が不要の簡素化された工法です。



電動工具で支柱鋼材に壁面パネルを締付け固定



ペビーサンダーで切断加工



- カーブ、折れ点、切断加工など微調整積みに柔軟に対応します。
- 周囲に調和する、石積みの趣きある景観を構築します。



# 様々な用途で活用されるE P S軽量盛土工法

E P S軽量盛土工法は優れた軽量性、強度を生かして様々なケースで活用出来る軽量盛土工法です。限られたスペースでの災害復旧工事、振動や騒音を極力無くした民家隣接工事、橋梁の延命化対策(土工化)など幅広く活用されています。



急峻地形・災害復旧等軽量盛土工事



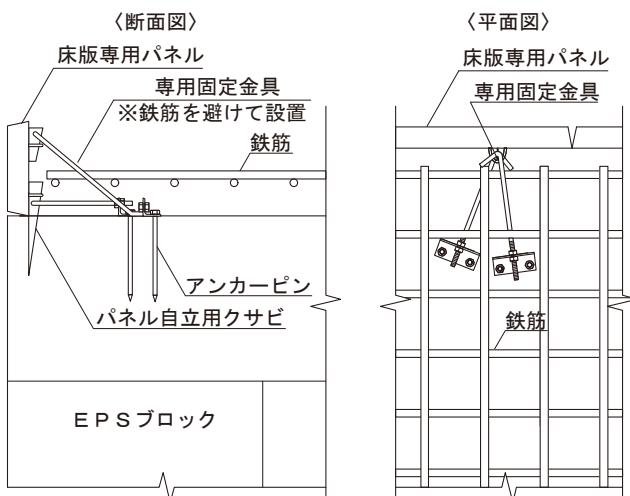
民家が隣接した  
道路拡幅工事



橋梁の土工化による耐震、延命化対策工事

## コンクリート床版専用残置型枠

■ E P Sのコンクリート床版専用に開発された残置型枠工法です。



- E P Sブロック上面に壁面パネルが自立する構造。設置が簡単で作業性に優れた型枠工法です。
- 鉄筋と干渉せず単独で自立安定。コンクリート打設など鉄筋の振動・動きの影響を受けません。
- 单管支保材が不要・型枠解体作業が不要で工事の省力化及び工程短縮に貢献します。



株式会社エンバイン

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-2

東宝日比谷プロムナードビル11階

TEL : 03-6807-5047 FAX : 03-6807-5048

mail : [info@enbine.jp](mailto:info@enbine.jp) HP : <http://enbine.jp>